

Nirvana ver.4.1.0

データベース準備マニュアル

(初版)

初版 2012 年 2 月 29 日

株式会社ニルソフトウェア

このソフトウェアの仕様および関連ドキュメントの記載事項は、将来予告なしに変更する場合があります。
このソフトウェアおよび関連ドキュメント(以下、本ソフトウェアと記します)で使用する会社等の組織・団体、人物、製品等の名称は架空のものであり、特に明記している場合を除き、実在の団体名、個人名、製品名等とは一切関係ありません。
本ソフトウェアは、お客様が使用許諾契約書の内容に同意いただける場合にのみ使用することができます。

本ソフトウェアの全ての部分についてこれを複製または譲渡することは、その目的や形態、手段を問わず、株式会社ニルソフトウェアの書面による許諾を受けない限り全て禁じられています。
本ソフトウェア中に表れる会社名、製品名には、各社の登録商標または商標であるものがあります。
お客様は、著作権に関する法令を遵守していただく必要があります。
本ソフトウェアのご使用にあたり、お客様は本ソフトウェアに含まれる使用許諾契約書に同意していただく必要があります。

© Nil Software Corp. All Rights Reserved

目次

1. はじめに.....	4
2. 動作環境.....	5
3. 事前の準備.....	6
4. DBMS のユーザ作成とデータベースの作成.....	7
4.1. Windows の場合.....	8
4.2. Linux の場合.....	9
5. Nirvana における DB 接続情報の設定と配布.....	10
5.1. Nirvana における DB 接続情報の設定.....	10
5.2. Nirvana ユーザアカウントの追加.....	10
5.3. DB 接続情報の配布.....	11

1. はじめに

本マニュアルは、Nirvana でプロジェクトの共有を行う際に事前に必要なデータベースなどの準備についての説明です。

2. 動作環境

動作環境は以下の通りです.

- PostgreSQL Ver.8 系

なお, 動作確認は以下の環境で行いました.

- PostgreSQL Ver.8.0.1 (src 版), Fedora Core 6
- PostgreSQL Ver.8.3.3 (Windows 版), Windows XP SP2

3. 事前の準備

本マニュアルの手順を実施する前に次の準備が必要です。これらの設定方法は DBMS (PostgreSQL) や各 OS のマニュアルをご覧ください。

- PostgreSQL のインストールと言語環境やアクセス設定

次の認証方法の設定が必要です。

pg_hba.conf の auth-method は md5 .

言語環境やアクセス制御の設定の例は以下の通りです。PostgreSQL のインストール先は適宜読み替えてください。

C:\Program Files\PostgreSQL\8.3\data\postgresql.conf 【Windows 版】
/usr/local/postgresql/data/postgresql.conf 【Linux 版】

```
listen_addresses = '*'
port = 5432
lc_messages = 'Japanese_Japan'
lc_monetary = 'Japanese_Japan'
lc_numeric = 'Japanese_Japan'
lc_time = 'Japanese_Japan'
```

C:\Program Files\PostgreSQL\8.3\data\pg_hba.conf 【Windows 版】
/usr/local/postgresql/data/pg_hba.conf 【Linux 版】

```
host      all      all      127.0.0.1/32      md5
host      all      all      192.168.1.0/24    md5
```

赤字の箇所にはアクセス可能な IP アドレス範囲を指定します。何を指定したら良いかわからない場合はネットワーク管理者に問い合わせてください。

- Nirvana の実行環境から PostgreSQL へアクセスが可能な状態となっている

OS のファイアウォールの設定 (PostgreSQL で使用するポートの解放)などを適宜設定して下さい。

- SQL ファイル (createforpgsql.sql) の用意

Nirvana のインストール先にある SQL ファイルを使用します。DBMS をインストールしているマシンに Nirvana をインストールしていない場合は、Nirvana をインストールしたマシンから DBMS をインストールしているマシンに次のファイルをコピーしておいてください。Nirvana のインストール先は適宜読み替えてください。

C:\Program Files\Nirvana4\sql\createforpgsql.sql 【Windows 版】
/usr/local/Nirvana4/sql/createforpgsql.sql 【Linux 版】

4. DBMS のユーザ作成とデータベースの作成

PostgreSQL に Nirvana 専用の DBMS アカウントとデータベースを作成します。
以降では、下記の DBMS アカウント名とデータベース名を使用するものとして説明を記します。尚、DBMS 運用上の都合により、DBMS アカウント名、データベース名を変更する場合は、createforpgsql.sql ファイル内の「nirvanadbuser」や「nirvanadb」も置き換える必要があります。

Nirvana 専用の DBMS アカウント名 : nirvanadbuser
Nirvana 専用のデータベース名 : nirvanadb

また、この手順で Nirvana 上の管理者アカウントが作成されます。この Nirvana アカウントはの DB 接続設定 で使用します。詳細はユーザズマニュアルの 4.10.1 項をご覧ください。

Nirvana アカウント名 : root
パスワード : root

4.1. Windows の場合

Windows 版 PostgreSQL における DBMS のユーザ作成とデータベース作成の方法は次の通りです。
PostgreSQL のインストール先や createforpgsql.sql のあるフォルダは適宜読み替えてください。

1. コマンドプロンプトを起動します。

スタートメニュー → アクセサリ → コマンドプロンプト

2. PostgreSQL のインストールディレクトリにある bin ディレクトリへ移動します。

```
> cd "c:\Program Files\PostgreSQL\8.3\bin"
```

3. PostgreSQL のスーパーユーザアカウント名, PostgreSQL のポート番号, 作成する DBMS アカウント名 nirvanadbuser を指定して createuser コマンドを実行します。

```
> createuser -U postgres -p 5432 -P nirvanadbuser
```

4. パスワードを 2 回入力します。

5. スーパーユーザ権限を与えるかどうかを尋ねられます。「n」を入力します。

6. データベース作成権限を与えるかどうかを尋ねられます。「n」を入力します。

7. さらにユーザを作成するかどうかを尋ねられます。「n」を入力します。

8. ユーザが作成された旨のメッセージが表示されます。

9. PostgreSQL のスーパーユーザ名, PostgreSQL のポート番号, 作成する Nirvana 用のデータベース名 nirvanadb, 文字コードを指定して createdb コマンドを実行します。

```
> createdb -U postgres -p 5432 -E "UTF-8" nirvanadb
```

10. PostgreSQL のスーパーユーザ名, PostgreSQL のアクセスポート番号, Nirvana 専用データベース名, createforpgsql.sql を指定して psql コマンドを実行します。

```
> psql -U postgres -p 5432 -d nirvanadb -f "C:\Program Files\Nirvana3\sql\createforpgsql.sql"
```

11. 各処理結果が表示された後, データベースの作成が完了します。

4.2. Linux の場合

Linux 版 PostgreSQL における DBMS のユーザ作成とデータベース作成の方法は次の通りです。
PostgreSQL のインストール先や createforpgsql.sql のあるディレクトリは適宜読み替えてください。

1. ターミナルを起動します。

2. PostgreSQL のインストールディレクトリにある bin ディレクトリへ移動します。

```
$ cd /usr/local/postgresql/bin
```

3. PostgreSQL のスーパーユーザアカウント名, PostgreSQL のポート番号, 作成する DBMS アカウント名 nirvana を指定して createuser コマンドを実行します。

```
$ ./createuser -U postgres -p 5432 -P nirvanadbuser
```

4. パスワードを 2 回入力します。

5. スーパーユーザ権限を与えるかどうかを尋ねられます。「n」を入力します。

6. データベース作成権限を与えるかどうかを尋ねられます。「n」を入力します。

7. さらにユーザを作成するかどうかを尋ねられます。「n」を入力します。

8. ユーザが作成された旨のメッセージが表示されます。

9. PostgreSQL のスーパーユーザ名, PostgreSQL のポート番号, 作成する Nirvana 用のデータベース名 nirvana, 文字コードを指定して createdb コマンドを実行します。

```
$ ./createdb -U postgres -p 5432 -E "UTF-8" nirvanadb
```

10. PostgreSQL のスーパーユーザ名, PostgreSQL のアクセスポート番号, Nirvana 専用データベース名, createforpgsql.sql を指定して psql コマンドを実行します。

```
$ psql -U postgres -p 5432 -d nirvanadb -f /usr/local/Nirvana3/sql/createforpgsql.sql
```

11. 各処理結果が表示された後, データベースの作成が完了します。

5. Nirvana における DB 接続情報の設定と配布

Nirvana における DB 接続情報の設定と、DB 接続情報を配布する方法を説明します。

5.1. Nirvana における DB 接続情報の設定

Nirvana を起動し、DB 接続情報を設定します。

1. Nirvana を起動します。
2. メインメニュー の [設定] → [環境設定] を選択します。
3. [DB 接続] タブを選択します。

このタブが存在しない場合は、Nirvana が Professional Edition として認識されていません。
README を参考にライセンスファイルを更新してください。

4. [新規] ボタンを押します。
5. 各項目を入力します。

接続設定名	: 任意の接続設定名
DB ホスト名	: DBMS のインストールされているホスト名または IP アドレス
DB ポート番号	: DBMS のポート番号(これまでの例では 5432)
DB 名	: nirvanadb
DBMS	: PostgreSQL
JDBC ドライバクラス名	: 空欄
DB アカウント名	: nirvanadbuser
DB パスワード	: 4 章の手順 4. で入力した DBMS アカウントのパスワード
Nirvana アカウント名	: root
Nirvana パスワード	: root

6. [了解] ボタンを押します。

以上で DB 接続情報の設定は完了です。プロジェクトの新規作成などを行い、データベースにアクセスできるかを確認してください。

また、Nirvana 管理者アカウントのパスワード変更をお勧めします。手順の詳細は「4.10.4.3.Nirvana ユーザを編集する」と「3.2.3.既存のデータベース接続設定を編集する」をご覧ください。

5.2. Nirvana ユーザアカウントの追加

次に、データベースにアクセスできる Nirvana ユーザを追加します。手順の詳細はユーザーズマニュアルの「3. プロジェクトを共有して使う」をご覧ください。

5.3. DB 接続情報の配布

Nirvana では DB 接続情報のエクスポート／インポート機能を使用して、ユーザの入力ミスを防ぎ、簡単に DB 接続情報を配布することができます。

まず、配布する DB 接続設定ファイルを作成します。

1. 「5.1. Nirvana における DB 接続情報の設定」と同様に接続情報を作成します。ただし、Nirvana アカウント名と Nirvana パスワードは空欄にします。
2. 作成した設定を選択した後、[エクスポート]ボタンを押し、選択した DB 接続設定ファイルを保存します。
3. 2.で作成したファイルを各 Nirvana ユーザ配布します。

各ユーザの操作手順(DB 接続情報のインポート)は次の通りです。手順の詳細はユーザーズマニュアルの「3.2.1. 既存のデータベース接続設定をインポートする」をご覧ください。

1. Nirvana を起動します。
2. メインメニュー の [設定] → [環境設定] を選択します。
3. [DB 接続] タブを選択します。

このタブが存在しない場合は、Nirvana が Professional Edition として認識されていません。README を参考にライセンスファイルを更新してください。

4. [インポート] ボタンを押し、DB 接続設定ファイルを選択して開きます。
5. [了解] ボタンを押しします。